

報告事項サ

国民読書年関連事業について

国民読書年関連事業について、別紙のとおり報告します。

平成22年10月29日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

国民読書年関連事業について

家庭・地域教育課

1 趣旨

2010年は「国民読書年」であることから、学校や家庭での読書の一層の推進を図る取組みを実施し、県民の読書活動の機運を醸成する。

2 実施事業

(1) 読み聞かせスキルアップ派遣事業

事業内容 地域で読み聞かせ活動をしている方を県外の各種研修等に派遣し、所属する団体や地域のボランティア全体の技能向上に還元していただく。

派遣人数 91名(現在47名)

研修先の例 「第48回日本親子読書センターのつどい2010(埼玉県)」
「読書サポーター講習会(大阪府)」
「第27回子どもの本全国研究集会(東京都)」
「第12回全国子どもの本と児童文化講座豊岡・城崎大会(兵庫県)」

報告会 「本と子どもをつなぐつどい(東部地区報告会)」

当該派遣事業に参加された方の報告を聞いたり、情報交換会等を行ったりする研修会を実施した。今後、中西部も実施予定。

日程 平成22年10月2日(土) 13:30~16:30
さざんか会館

参加人数 63名(派遣者29名、その他34名)

感想

- ・なかなか研修に参加するチャンスがないが、こうした報告の機会を作っただけありがたい。
- ・ストーリーテリングやブックトークなど普段聞けない研修の参加報告があって良かった。
- ・困っていること、苦労していることなど共感できることも多く、今後協力しあう話もできた。
- ・読み聞かせに適した図書の紹介もあり、参考になった。
- ・今後も研修の場を設けていただいたり、ボランティア同士の交流の研修会を作ったりして欲しい。

成果

- ・学校で活動している保護者などにも呼びかけ、新しいボランティア団体の掘り起こしにつながった。
- ・今まで広範囲によるボランティア同士が集まる機会がなかったのでネットワークづくりに役立った。
- ・企画・運営をボランティアの方を中心にしていただき、満足度の高い研修になった。



(2) 創作体験支援事業(物語を演じてみよう)

目的 児童図書の一場面を題材に、「鳥の劇場」の劇団員の指導を受けながら、演劇を通し、物語の世界を楽しんだり、本に親しみを持ったりして子どもの読書活動の推進に役立てる。

実施内容 5つのグループに分かれ、「大どろぼうホツェンプロッツ」(必須)と「かいぶつアグサム」「袋のなかの男の子」「魔法の指輪」(3話のうち1つを選択)の1場面を劇団員と一緒に劇にする。お互いの演技を発表したり、話し合う中で友達の読み取りにふれていく。

実施校

学校名	学年	人数	実施日
大山町立大山小学校	5・6年生	23名	9月29日(水)
八頭町立安部小学校	5・6年生	23名	9月30日(木)
岩美町立岩美南小学校	5年生	21名	10月13日(水)
伯耆町立溝口小学校	4年生	23名	10月26日(火)
倉吉市立成徳小学校	4年生	24名	11月12日(金)



感想

- 文章を読むことは嫌いなので、期待していなかったけれど、実際やってみると、とても楽しかったです。
- この授業が楽しかったので、後で本を借りて読みました。
- 本を読むのが苦手だったけど、会話の部分に気をつけると、登場人物の気持ちを想像できることが発見でき、本を読むのが楽しみになった。
- 同じ怪物を表現するところで、各班がいろんな工夫をしていて、とても良かったと思う。
- 読書に「演じる」という要素を加えることで、たくさんの友だちと一緒に物語の世界にひたる楽しさを味わえることができ、演劇を観ただけでは経験し得ない読書活動の楽しさの新たな一面を知ることができた。(担任)



成果

- 本を「読む」ことの楽しさを物語を演じることにより感じられた。
- 友だちと本の内容を話しあうことで、今まで気づけなかった部分を発見でき、読み方が深まっていた。
- 学級文庫に関する本を置くことで興味を持ち、本を借りて読む子が増えた。



(3) 学校給食用牛乳パックによる国民読書年啓発広報

事業内容 国民読書年の啓発を目的に学校給食用牛乳パックに広告を掲載する。
(1日に小学校約3万6000個、中学校約1万8000個)

広告見本



広告期間 10月12日(火)～12月中旬

開始イベント

- ・実施校 琴浦町立東伯小学校 1年生
- ・内容 平成22年10月12日(火)

大山乳業農業協同組合から1年生の児童に牛乳の贈呈をした。昼の休憩時間に地域のボランティアの方に本の読み聞かせを実施していただいた。



成果

- ・企業と協力して、「国民読書年」をPRすることができた。
- ・子どもたちは、国民読書年のロゴに興味を持っていた。あわせてポスターを全小・中学校のクラスに配布し、国民読書年の説明ができた。

(4) ジオパーク文学ゆかりの地散策バスツアー

事業内容 山陰海岸ジオパークを文学の側面からその魅力を探り、読書への関心を高めもらう

日程 10月23日(土)

場所 鳥取砂丘歌碑巡り(有島武郎、与謝野晶子)

山陰海岸ジオパーク散策(島崎藤村「山陰土産」)、山陰海岸学習館
鳥取市立中央図書館長 西尾肇 氏による解説

参加者 19名